

斜里地区消防組合で運営されている。

一次救急医療体制については原則、市町村単位での完結を求められているが、現実には不十分さがあり、近隣の自治体の一次救急医療機関を受診したり搬送されることがある。何らかの機会を通じて関係機関が集まり、改善策を考えていかなければいけないと感じている。

二次救急医療体制については、特定の病院に集中しているが、負担を軽減するには、一次と二次救急医療機関の救急搬送の考え方の統一と情報の共有化が必要と考える。

一次・二次救急医療体制は非常に重要と考えており、どちらか片方が崩れるともう一方も崩れてしまうものである。現状の医師不足の中では新たに医師を確保することは難しいことから、まずは、現在ある資源の中で一次・二次救急のすみわけをしなければいけない。将来的には、どのような傷病をどこの医療機関に迅速に搬送するかということを含め関係機関で協議し、それを消防とも一致させながら、より迅速な救急医療体制を整備していくことが必要である。行政として今後とも斜網地区の救急医療体制の整備に努めていきたいと考えている。

#### 4. 消防の立場から

網走消防署救急担当主幹 新里 隆志

網走市の昨年の救急出動は、一日平均約4件の1,425件であり、そのうち1,394人が病院に搬送されている。今年は9月までに1,139件となり、昨年の同時期を91件上回っている。昨年の重症度をみると、重症20.5%、中等症41.5%、軽症が35.4%であり、全体の3分の1が軽症となっている。



安易な救急車の要請が、緊急性が高く生命に係る傷病者の搬送を遅らせることにもなるので、体調が悪い場合は、我慢せずに昼間の診療時間内に医療機関を受診し、本当に必要なときに救急車が出動できるよう、適切な救急車の利用をお願いしたい。

◇

この後、パネリストによる全体討論、フロアとの意見交換を行い、網走医師会・大平会長の閉会挨拶で終了した。

本フォーラムを通じて、住民に救急医療機関の役割を正しく理解いただき、地域の医療体制を守るためには何が必要なのかを自ら考えるきっかけになってほしいと願っている。

当会では、危機的状況にある地域の救急医療体制を献身的に支えている諸先生をはじめ、医療スタッフの負担が軽減され、医療者としてのモチベーションの向上に少しでも役立てるよう来年度も本フォーラムを開催し、救急医療の普及啓発に取り組んでまいります。

## 電子メールによる会員への情報提供について

—メールアドレスの登録—

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

### ●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：[add@m.doui.jp](mailto:add@m.doui.jp)